

沖縄キリスト教短期大学「環境指導法」(1年次)授業実践報告

照屋, 建太
沖縄キリスト教短期大学保育科 : 教授

<https://hdl.handle.net/2324/4822582>

出版情報 : オンライン授業の地平 : 2020年度の実践報告, pp.75-75, 2021-04-30. 雷音学術出版
バージョン :
権利関係 : Creative Commons Attribution-NonCommercial-NoDerivatives International

1. 授業の目的と概要、授業内容、成績評価の方法等

本演習は、保育科1年次前期と後期に保育士資格、幼稚園教諭二種免許取得の選択必修科目である。身近な環境を利用し、乳幼児の発達、経験を通じた学びの過程を踏まえた場面を想定した指導方法を身につけることを目標としている。さらに、乳幼児期の発達や経験を通じた学びの過程を理解し、具体的な場面を想定した保育を構想する方法を学ぶ。また、グループ活動で大学構内の環境観察や植物観察等を通して、幼児期に必要な保育環境について考える。成績評価は、まとめのレポート(50%)、振り返りのコメント(30%)、DVD視聴感想レポート(10%)、受講態度(10%)で行う。2020年度は前期のみ遠隔講義があった。その際に行った内容について授業実践を報告する。本学の遠隔授業は、90分に相当であればZoom、Google Classroom、Microsoft Teams、iLas(大学独自の課題配信システム)、メール、オンデマンド方式、課題研究が認められていた。

また本演習は、グループ活動が数回、DVD視聴がある。そのため、遠隔で講義を先に行い、対面講義の際にグループ活動とDVD視聴を行う予定で演習を進めた。遠隔での講義は、Google ClassroomとZoomを併用して行った。学生はZoomへ入室した際、Zoomのチャット機能を利用し、出席確認を行ったため、学籍番号と名前を入力した。Zoomの録画機能は、ミーティング終了後にチャットも保存される。よって出席確認は、チャットを利用することで確実に行うことができ、出席確認の時間を短縮できた。

授業の内容は、対面講義で行っていた内容を踏まえ、Microsoft PowerPoint、Microsoft Word、PDF等を画面共有し説明した。その際に、画面の文字サイズを大きくした。スマートフォンで遠隔授業を受けている学生には、画面の文字が小さく見える。そのため、文字を200%程度拡大し説明を行った。さらに、学生の通信料を考慮し、Zoomの授業も40分程度とした。授業後には、Google Classroomを利用し、講義のまとめを配信した。その後、学生からの振り返りコメントを求め、授業内容の理解度を確認した。

前期は数回、対面で行うことができた。その際にグループ活動とDVD視聴を行うことができた。しかし、最終のレポートに関しては、遠隔講義となったためGoogle Documentを利用し、まとめの提出期限を1週間とした。

2. 今後の課題・可能性、もしくは受講生の反応等

Google Classroomを利用した振り返りのコメントを読むと、授業内容のコメントにもよいものとなっていた。Zoomの共有機能を利用したPowerPointでは、実際に対面で講義を行っていると思える内容だったと記述があった。また、振り返りのコメントを通して、講義内で質問できない内容を質問できるように工夫した点も学生から高評価を受けた。しかし、対面で講義を行った際に、友達と講義を受けることができよかったですと話していた。また、遠隔講義は授業内容の理解度が劣るとコメントも複数あった。

今後は、チャット機能を利用した出席確認は、学籍番号を半角、名前はカタカナと統一すると、チャット機能の内容をソートすることができ、出席確認がさらに楽になると考える。

また、理解度の把握のため学生からのコメントを必須としたい。

今回は、対面講義になる期間があったためグループ活動を行うことができた。しかし、すべて遠隔授業で行うことになった場合、グループ活動について検討しておくことが、今後の必須課題と言える。さらにZoom、Google Classroom、Microsoft Teams、iLas(大学独自の課題配信システム)、メール、オンデマンド方式、課題研究が認められていたため、学生はすべての遠隔講義の方法を把握するのに大変という意見もあった。

最後にスマートフォンで動画を視聴する学生にとって、電話の通信料やバッテリー、画面が小さい等の問題がある。可能な限り、これらのデメリットも考えた遠隔講義の方法も重要検討課題の1つである。